

熊本市住宅審議会 議事録

<p>日時： 平成 26 年 2 月 12 日(水) 15:00～</p> <p>場所： 熊本市役所議会棟 2 階 予算決算委員会室</p> <p>出席者：位寄委員、田中委員、松岡委員、持田委員、平塚委員、御厨委員、平井委員、二木委員、金澤委員、日隈委員、宮原委員、竹原委員、岡田委員、浦田委員、有江委員</p> <p>次第：住宅審議会（本会）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 報告 策定経緯と各専門部会審議概要【資料 1】 3 議事 熊本市住生活基本計画骨子（案）について【資料 2】【資料 3】 4 来年度スケジュールについて 5 閉会 	
委員	<p>（資料 2 の 15 ページ）基本方針Ⅱの施策 5－3 「地域や教育現場の活用」はよいことだと感じている。施策方針の文言に「住宅に関連する教育の取り組み」と書いてあるが、住宅だけでなく地域コミュニティにも対象を広げて教育に取り組んでいくという内容にしてはどうか。</p>
委員	<p>その通りだと思うが、部会が住宅に関連する項目に限っていたため、そうなっている。基本方針Ⅱの施策 5－3 に限定して書くのではなく、基本方針Ⅰ・Ⅲにも情報に関して記載しているので、それぞれの方針の中に書いてはどうか。</p>
会長	<p>内容を切り分けることは難しいので、内容が重なったとしても、それぞれの基本方針に書くということでもいいと思う。田中部会長から他に補足はないか。</p>
委員	<p>基本方針Ⅱの目標 1 と目標 2 は、似た書き方になっている。目標 2 は老朽化対策であることをイメージしにくいので、表現を工夫した方がよいと考える。</p>
事務局	<p>質的な向上を図ったうえでの老朽家屋への対応と考えるので、部会の審議から変更して記載している。また、基本方針Ⅲの中にも、住環境の向上に関するものがあるため表現が重ならないようにした。内容としても老朽危険家屋に言及する条例が主であったため、政策としては、広い視点を持った方がいいということで表現を変えた。</p>
会長	<p>基本方針Ⅱの目標 2・3・4 は関連しているため、なかなか明確には分けにくい。</p>
委員	<p>（資料 2 の p 15）基本方針Ⅱの施策方針 5－1 から「県や市」の行政がなくなった理由はあるのか。</p>

事務局	修正段階で漏れたので元に戻す。
委員	基本方針Ⅰの「安心な“暮らし”の実現」の下の◎（キーワード）に関して、基本方針Ⅰの◎の数も目標の数とそろえた方が良い。「共に支えるコミュニティ」などを追加して目標と対応させたほうがよい。
委員	（資料２の 7 ページ・8 ページ）基本方針Ⅰの目標 2 と目標 3 では、九州や遠隔地での災害がキーワードに出ていた。災害時だけでなく非災害時も、心と体の安心安全を支援する相談窓口が必要だということで、日常の安心な生活（目標 2）に加えて、災害時の安心（目標 3）に分けてある。そのため、キーワードは目標 2 と目標 3 が合わさった「安心な生活」が記載されている。
委員	「コミュニティ」と「暮らし」という考えではなく、目標 2 は「日常の暮らしの中での安全確保」で目標 3 は、「災害時の安全確保」ということだと理解した。
事務局	市としての考え方を示す上では、安心のキーワードの中に災害時を別途目標として取り出し、キーワードとして 3 つ、目標としては 4 つと考えた。
事務局	趣旨が変わらないようにキーワードが見つければ検討したい。
会長	目標 2・3 をまとめて 1 つのキーワードにするということもある。検討してほしい。
委員	（資料 2 の 20 ページ）基本方針Ⅲの施策方針 3-3 「まちづくりに関する民間事業者との情報提供」は「まちづくりに関する民間事業者との情報共有」の方が適切なのではないか。
事務局	部会長と相談し決定する。
委員	20 ページに関して、「◎情報共有」はもっともだと感じる。基本方針Ⅲの目標 3 は、「情報発信」となっているが、「“くまもと” の情報発信と共有」としてはどうか。全体を見ると情報発信と共有について述べているように見える。
会長	（資料 2 の 2 ページ）位置づけの書き方は、問題ないのか。
事務局	関連計画との整合は、関係課への照会を行い整合が取れているか確認をとっている。骨子案の最終的な確認は行っていく。
委員	位置付けに関して、全国計画は上位計画としてよいが、県計画と市計画は横並びである。県計画との方向性は、概ね同じであると考えるため、この方向性でまとめてほしい。
会長	これまでの議論をもとに、骨子案は再度、庁内で検討してほしい。

以上